

NEWSLETTER No.125 TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ
 ISSN 1340-5578 The Society for Research in Asiatic Music October 2, 2025

一般社団法人 東洋音楽学会 会報 第125号

発行 一般社団法人東洋音楽学会
 事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
 ●E-mail : LEN03210@nifty.com ●ホームページ : http://tog.a.la9.jp

目次

第14回定時社員総会のお知らせ..... 1	ICTMD (国際伝統音楽舞踊学会) に関するお知らせ.....5
総会への出席のお願い..... 2	RILM (音楽文献目録) 委員会からのお知らせ..... 5
総会を欠席する方へ——「書面議決書」または「委任状」 提出のお願い..... 2	例会委員会からのお知らせ.....6
第76回大会のご案内..... 2	デイヴィッド・ヒューズ氏の思い出.....6
第43回田邊尚雄賞アンケートのお願い..... 3	会員異動.....7
情報委員会からのお知らせ..... 4	図書・資料等の受贈.....7
会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせなど..... 4	新刊書籍.....7
『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ..... 5	新発売視聴覚資料.....8
	編集後記.....9

第14回定時社員総会のお知らせ

一般社団法人 東洋音楽学会 正会員各位
一般社団法人 東洋音楽学会 会長 早稲田みな子

第14回定時社員総会招集状

「一般社団法人 東洋音楽学会定款」第16条および第18条の定めに基づき、第14回定時社員総会を下記の通り開催しますので、正会員はご出席下さい。

記

日時 2025年11月30日(日) 15時50分～16時50分
場所 沖縄県立芸術大学 首里当蔵キャンパス 奏楽堂ホール

審議事項

第1号議案 令和6年(2024年)度事業報告の件

第2号議案 令和6年(2024年)度収支決算の件

第3号議案 令和7年(2025年)8月31日現在貸借対照表および正味財産増減計算書の件

第4号議案 令和7年(2025年)8月31日現在会員異動状況の件

第5号議案 その他

報告事項

1. 令和7年(2025年)度事業計画の件
2. 令和7年(2025年)度収支予算の件
3. 支部廃止後の定例研究会の実施について
4. その他

*総会に出席できない正会員の方は、「書面議決書」または「委任状」の提出をお願いします。詳しくは、別項「総会を欠席する方へ——『書面議決書』または『委任状』提出のお願い」をお読みください。

*上記以外の議案を提出なさりたい方は、あらかじめ事務局にご連絡ください。

総会への出席のお願い

総会の成立には正会員の過半数の出席(議決権の行使)が必要です。総会への出席(議決権の行使)は一般社団法人の正会員の権利であり、責務でもあります。総会にはぜひご出席ください。

総会を欠席する方へ——「書面議決書」または「委任状」提出のお願い

やむを得ず総会を欠席する場合には、「書面議決書」または「委任状」のいずれかによって議決権を行使することができます。いずれかを、11月28日(金)までにご提出ください。

1. 「書面議決書」の提出

書面議決書とは、議案への賛否をあらかじめ表明する文書です。議案書および書面議決書の回答フォームは、11月中旬までに学会ウェブサイト(<http://tog.a.la9.jp/>)に掲載されます。同時期に担当理事から「定時社員総会についてのお願い」を電子メールにて配信しますので、書面議決書を提出する場合は、議案書をお読みの上、ウェブサイトに掲載されるリンクあるいはQRコードから回答フォームへアクセスし、11月28日(金)までに回答を送信してください。電子メールを使用していない正会員の方で、書面議決書の提出を希望される方は、学会事務所にご相談ください。

2. 「委任状」の提出

委任状により、他の正会員を代理人として、議決権の行使を委任することができます。委任状を提出する場合は、会報に同封した委任状の書式に、代理人の氏名を記入の上、署名(自著)・押印してください(代理人は総会に出席する正会員のみが認められます。空欄の場合は、会長に代理人の選任を一任したものと扱います)。記入済みの委任状をスキャンまたは写真撮影し、添付ファイルで総会専用のメールアドレス(toyosokai2016@yahoo.co.jp)宛に11月28日(金)までにお送りください。電子メールを使用していない方は、以下の大会実行委員会宛に、11月28日(金)必着にて郵送してください。

郵送の場合の委任状送付先：東洋音楽学会第76回大会実行委員会

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4 沖縄県立芸術大学音楽学部 高瀬研究室 気付

第76回大会のご案内

東洋音楽学会第76回大会は、同封のプログラムの通り、沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス(〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4)にて開催します。多くの会員のご参加をお待ちしています。

第1日の11月29日(土)と第2日の11月30日(日)の午前は、3会場に分かれて、個人発表29件、共同発表3件の計32件の研究発表が行われます。各人の自由なテーマによる多彩な内容になっており、充実した活発な議論が期待されます。

第2日の11月30日(日)の公開講演会では、「伝世する古楽器の保存と活用」をテーマとして、国立歴史民俗博物館教授で、同博物館所蔵の紀州徳川家楽器コレクションに長年関わってこられた日高薫氏(専門：漆工芸史)にご登壇いただきます。紀州徳川家楽器コレクションは、紀州藩第十代藩主、徳川治宝(1771-1852)によって収集された、雅楽器を中心とする総数162件の楽器コレクションです。東京国立文化財研究所で楽器の文化財保存技術に携わる前原恵美氏のコメントを踏まえ、活発な質疑と議論を期待します。

公開演奏会では、新垣俊道氏(琉球古典音楽野村流保存会師範)ほか計5名の琉球古典音楽演奏家による「北宮十二頌曲」を、沖縄芸能研究者で琉球王国時代の三線の研究に携わる遠藤美奈氏の解説を交えながら上演します。「北宮十二頌曲」は、琉球王国時代に冊封使のために催された七宴のうち、冊封宴で演奏された十二の節からなる組曲です。尚家文書『冠船躍方日記』(1839)に記された「戌の御冠船」(1838)の記録に基づき、琉球王国文化遺産集積・再興事業で模造復元された三線(沖縄県立博物館・美術館所蔵)を用いて再現演奏します。

大会開催と同時期に、沖縄県立芸術大学附属図書・芸術資料館では、公開演奏会で使用する三線(沖縄県立博物館・美術館所蔵)、同芸術資料館に寄贈された田邊尚雄(1883-1984)旧蔵資料の三線や胡弓等の展示も行います。どなたでも入場可能ですので、併せてご覧ください。

◇大会参加申し込みの方法

大会に参加する方は、下記からお申し込みください。

(参加申し込みのURL及びQRコード)

<https://forms.gle/CSKi8Ru82CQcpfVQA>



正会員・学生会員のうち早割利用者は10月31日(金)まで、それ以外の方は11月20日(木)までにお申し込みください。

◇大会参加費について

・参加費 ※早割の参加申込・参加費払込期限は10月31日(金)

正会員：【早割】3,500円、【通常】4,000円

正会員のうち大学院生(修士課程・博士課程在籍者)・研究生、
および学生会員：【早割】1,500円、【通常】2,000円

非会員(個人・共同発表への参加費※)：4,000円

学生非会員(個人・共同発表への参加費※)：2,000円

※非会員が第2日の「公開講演会」「公開演奏会」のみに参加する場合は無料です。

※今回、懇親会およびお弁当の販売はございません。

※参加には、参加申し込みと参加費払込が必要です。11月20日(木)までに、必ず両方を行ってください。

※賛助会員・特別会員・非会員(共同発表者を除く)の方は、当日参加も受け付けます。

※会場近くには、コンビニ、飲食店等がありますが、小規模な店舗ですのでご注意ください。

※プログラム冊子は再配布しませんので、当日は忘れずにご持参ください。当日必要な場合は、500円で頒布します。

◇参加費の払込方法

以下のいずれかの方法で払込をお願いいたします。

①ゆうちょ銀行から振込の場合※

記号 10150 番号 93437151

口座名義 一般社団法人 東洋音楽学会

シャ) トウヨウオンガクガッカイ

※振込取扱票はお送りしていません。

②ゆうちょ銀行以外の金融機関から振込の場合

金融機関名 ゆうちょ銀行

店名 〇一八(ゼロイチハチ) 店番 018

預金種目 普通預金 口座番号 9343715

口座名義 一般社団法人 東洋音楽学会

シャ) トウヨウオンガクガッカイ

③学会ウェブサイトからPayPalを利用する場合

詳しくは本学会ウェブサイトの「大会案内」のページをご覧ください。

※手数料は、参加者でご負担くださいますようお願いいたします。

※いずれの払込方法の場合も、学会からの領収証の発行は行いません。金融機関が発行する振込明細やPayPalが発行する領収書をご利用ください。

◇大会実行委員会

委員：遠藤美奈、古謝麻耶子、高瀬澄子(実行委員長)、塚原健太、長嶺亮子、前原恵美(本部経理)、三島わかかな、早稲田みな子(本部総務)

事務局：沖縄県立芸術大学音楽学部 高瀬研究室気付

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町1-4

連絡先：東洋音楽学会第76回大会実行委員会：
tog76taikai@gmail.com

第43回田邊尚雄賞アンケートのお願い

第43回田邊尚雄賞選考委員会では、新刊情報を広く収集しています。会員の業績を顕彰する貴重な機会ですので、著作物を出版される際は、選考委員会までお早めにお知らせ下さい。自薦のほか他薦も歓迎いたします。

選考対象：2025年1月1日～12月31日の発行情物

受付期間：随時。締切は2026年2月上旬(予定)。

記入事項：著者名、書名、発行年月日、発行所名。

なお、論文の場合は、掲載誌名・巻次・編集者名・論文頁数も記して下さい。推薦理由を簡潔にお書き添えいただいても構いません。

▶送付先：東洋音楽学会 第43回田邊尚雄賞選考委員会

(郵送)〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号

(Fax) 03-3832-5152

(電子メール) LEN03210@nifty.com

※ご連絡の受け取り確認などは遅れる可能性もあります。

選考委員：遠藤徹、奥中康人、佐本英規、高瀬澄子、濱崎友絵

情報委員会からのお知らせ

①124号でもお知らせしたように次号(126号)より1月と5月に発行される会報は、原則として全会員にメール配信で行うこととなりました。メール配信では、会報の他に、例会情報をお届けします。学会にメールアドレスをお知らせくださった会員には、9月に行われた例会情報を配信済みです。配信メールが届いていない方は、まずは「迷惑メール」扱いになっていないかご確認の上、情報委員会(togictmt@gmail.com)にメール配信が受け取れていない旨の連絡をお願いします。

②メールアドレスをお持ちでない方、メールで配信を受け取るのが難しい事情のある方については、会報を郵送します。名簿作成時にお申し出くださった方以外で、上記の理由により会報郵送を希望される方は、学会事務局までご連絡ください。

③支部制度の廃止に伴い、学会ウェブサイトの構成を変更しました。支部体制下で開催された定例研究会の記録は、「定例研究会」のページから遡って確認することができます。また「会報・機関誌」のページ名を「学会刊行物」に変更し、会報や機関誌に加えて、過去の「支部だより」「支部通信」を閲覧できるようにしました。

④学会ウェブサイトのトップページ(<http://tog.a.la9.jp>)に掲載する情報を「お知らせ」と「更新情報」に整理し、「お知らせ」では会報掲載が間に合わなかった関連学会情報や研究助成案内などを掲載することとしました。

⑤会員情報の変更は学会ウェブサイトから届出ができます。トップページの上にある「会員の皆様へ」をクリックし、ログインIDとパスワードを入力すると「東洋音楽学会名簿登録・修正フォーム」にアクセスできます。ログインIDとパスワードは同封の別紙でご確認ください。会員情報の変更は上記の登録フォームの他に、学会事務所宛のメール(LEN03210@nifty.com)やファックス(03-3832-5152)でも受け付けています。

会費納入のお願いと会費割引制度のお知らせなど

1. 会費納入のお願い

2025年9月から新しい年度(2025年度)が始まりました。会費未納の方は、金額をお確かめの上お払込くださいますようお願い申し上げます。振込用紙を紛失された場合は、下記学会口座宛にお振込ください。なお、本会報と入れ違いに納入された場合はどうぞご容赦ください。

正会員：8000円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者：6000円

○郵便局からの払込

ゆうちょ銀行[口座番号]00160-6-55723 [加入者名]一般社団法人東洋音楽学会

○他金融機関からの振込

ゆうちょ銀行[支店名]〇一九(ゼロイチキュー)店(019)
[当座]0055723

○オンライン決済サービスによる納入

ペイパル(PayPal)によるオンライン決済でも会費が納入できます。学会ウェブサイトのトップページ(<http://tog.a.la9.jp>)の「入会方法はこちら」をクリックし、「入会方法」のセクションをご覧くださいと納入ボタンがあります。オンライン決済にはペイパルへのログインが必要です。ペイパル・アカウントをお持ちでない方は、アカウントを開くと送金できます(アカウント開設費無料)。なお、オンライン決済には手数料が発生するため、納入金額は以下のようになります。

正会員：8350円

学生会員(大学院生を除く)、および割引申請者：6280円

2. 会費割引制度のお知らせ

本学会には、夫婦・親子割引、大学院生(博士課程・修士課程)・研究生割引の制度があります。それぞれ条件や申込方法が異なります。学会のホームページ(<http://tog.a.la9.jp/about.html#7>)でご確認の上、お申し込みください。なお、大学院生の割引制度を受けるためには「大学院生会費減額措置願い」と学生証のコピーを、また研究生の割引制度を受けるためには、「研究生会費減額措置願い」と学生証のコピー、履歴書が必要です。次年度以降も継続して減額措置を希望する場合は、毎年、前年度末すなわち8月31日までに、「減額措置願い」を提出する必要があります。

3. 会費の滞納者へのご注意

滞納がありますと、会員の権利(研究会・大会での発表、学会の発行物の受取)が行使できないことがありますのでご注意ください。

4. 卒論・修論の発表者へのご注意

発表を機に入会された会員にも、新年度の会費納入義務が発生いたします。退会するためには退会届が必要です。その旨ご了解のうえ、会費の納入にご協力ください。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第91号(2026年8月刊行予定)の原稿を募集いたします。

投稿を希望される方は、学会機関誌最新号に掲載予定の「投稿規定」および「投稿の手引き」をよくお読みの上、ご投稿ください。「投稿規定」および「投稿の手引き」は機関誌編集委員会で改訂を行うことがあります。必ず最新号でご確認ください(投稿原稿の送付方法が郵送からメールとなっています)。

分量の限度の守られない投稿がしばしば見受けられます。各原稿の字数制限は、本文、注、文献表、譜例、図表、写真などを含むものとなっておりますので、ご注意ください(投稿の際は、必ず字数を明記してください)。

送付方法: メールにPDFとMSWordの文書を添付の上でお送りください。メールでの送付が難しい場合には、編集委員会または学会事務局へご相談ください。

送付先: 東洋音楽学会機関誌編集委員会 < tog.kikanshi@gmail.com > と東洋音楽学会事務局 < LEN03210@nifty.com > の2か所にお送りください。

締切: 2025年11月28日(金) 必着

ICTMD (国際伝統音楽舞踊学会) に関するお知らせ

1) 第7回 ICTMD 東アジア音楽研究会(MEA)シンポジウム開催のお知らせ

ICTMD 東アジア音楽研究会 (Study Group on Musics of East Asia=MEA) の第9回シンポジウムは以下の通り開催されます。

日時: 2026年7月3日~5日

開催地: 国立台湾師範大学

プログラム実行委員 (敬称略、五十音順)

Man-Ying Sheryl Chow

Meng-Tze Chu

Hyelim Kim

Naoko Terauchi

Shuo Niki Yang

Anna Yates-Lu

シンポジウムの詳細、発表募集要項などは MEA のホームページをご参照ください: <https://ictmusic.org/studygroup/mea>
発表募集の締切は 2025 年 10 月 31 日です。

2) ICTMD 第 49 回大会は以下の通り開催されます。

日時: 2027 年 1 月 14 日~20 日

開催地: Universidad Alberto Hurtado, Santiago, Chile

大会テーマ:

- 1) Latin America and the Caribbean in the Region and Beyond
- 2) Digital Media
- 3) Power, Conflict, and Planetary Health
- 4) Spiritual and Religious Performativities
- 5) Queering the Field
- 6) Alternate Histories
- 7) New Research

詳細は <https://www.ictmusic.org/ictmd2027> をご覧ください。発表募集の締切は 2025 年 12 月 31 日です。

RILM (音楽文献目録) 委員会からのお知らせ

◇『音楽文献目録オンライン』の状況

『音楽文献目録オンライン』では、既刊の冊子体『音楽文献目録』41号以降の文献を Web で掲載中です。事務局に情報が届いた文献のうち、2024年4月に選定された分までの文献が公開されています。それ以降の文献も、順次公開される予定です。同時に既刊の冊子体の目録の遡及入力も行われており、40号と38号までが完了し、会員のみならずには過去の目録も含めて Web で検索・閲覧できるようになります。

また『音楽文献目録オンライン』上の広告は2022年4月1日から開始しておりますが、広告枠にはまだ余裕があり引き続き募集(5,000円~)しています。今年度より母体団体として東洋音楽学会のバナー広告の掲載も始まりました。

なお、冊子体の遡及入力のための基金を募集しており、今年度、当学会からも3万円の寄付をいただきました。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

◇東洋音楽学会会員の『音楽文献目録オンライン』へのアクセス

本学会 HP に表示される「音楽文献目録オンライン」をクリックした後、ID とパスワードを入力してアクセスして下さい。同封の別紙に『音楽文献目録オンライン』にログインするための ID とパスワードが掲載されています。それらを入力してアクセスしてください。会員限定情報であるため、今後会報には掲載しないこととなりました。ID およびパスワードについてのお問い合わせは、情報委員会 (togictcmt ☆ gmail.com ☆を@に変更してください) までお送りください。

例会委員会からのお知らせ

令和7年度の定例研究会の概要についてお知らせいたします。

令和6年度をもって廃止される支部委員会に代わり、各支部委員会を統合して研究企画委員会を設置し、例会の企画運営をおこないます。委員会内に地区ごと(東日本・西日本・沖縄)の部会を設置して、地区を超えた情報の共有と交流に努めつつ、各支部が築いてきた地域のネットワークを生かした開催をある程度維持してまいります。

例会の告知は、メール配信と学会ウェブサイトを中心におこないます。例会報告については会報および学会ウェブサイトへの掲載を予定しています。対面・オンライン・ハイブリッド等の開催形態については、対面での緊密な議論およびオンラインによる多くの会員の交流の可能性を考慮しつつ、実情に応じてその都度決定します。

1年度中の例会開催回数は10回以上として、3回程度を3地区合同、7回程度を各地区担当(東日本3回、西日本3回、沖縄1回程度)で開催する予定です。ただし、令和7年度は大会が沖縄で開催されるため、沖縄地区での例会はありません。例会開催回数は新たに第1回から数えることとし、東日本が担当して9月27日に開催した例会を「第1回定例研究会」といたしました。

10月(西日本担当)、1月(東日本担当)と順次例会を企画いたします。例会の発表申し込み、企画の提案については、toyo-kki@googlegroups.com にお送りください。例会は、学会の研究活動の重要な柱の1つです。会員の皆さまが進めている研究プロジェクトに基づく企画、地区を横断する企画、実演をともなう企画、特定の地域に根ざした企画など、会員の皆さまからの積極的な例会企画の提案をお願いいたします。これまで例会が開催されてこなかった地方での開催を実現するため、運営の補助要員を派遣することも検討しています。ご希望がある場合はご相談ください。

デイヴィッド・ヒューズ氏の思い出

マット・ギラン

2025年5月4日にデイヴィッド・ヒューズ氏が享年79歳で世を去られた。彼は長年にわたって東洋音楽学会の会員として、また東洋音楽学会が加盟している ICTMD (国際伝統音楽舞踊学会) の役員として日本音楽の理解や発展に多いに貢献された。

ヒューズ氏はイェール大学で言語学を専攻し、1967年に学士号、1972年に修士号を取得した後、ミシガン大学にて日本語講師として教鞭を取った。ミシガン大学時代より日本音楽に興味を持ち始め、ウィリアム・マルム教授の下で民族音楽学を学び1985年に博士号を取得した。ミシガン大学では、マルム氏の影響で長唄に出会い、また日本民謡のサークルを自ら結成し、北米の大学で日本民謡を演奏し紹介するようになった。同時代には、ミシガン大学教授のジュディス・ベッカーが率いるジャワ・ガムランのサークルに参加するなど、世界の音楽を幅広く研究するようになった。

ヒューズ氏は1987年から SOAS (ロンドン大学東洋アフリカ学院) にて講師、1995年から2008年までは同大学の上級講師として教鞭を取り、2000年から2004年までは同大学音楽学部の学部長を務めた。その間に日本音楽、東南アジアの音楽などと関連する多くの学部生、修士論文、博士論文を指導した。また、同大学の日本民謡グループ、沖縄民謡グループの指導者として、イギリス社会に日本の音楽を紹介した業績が大きい。

研究業績として、*Ethnomusicology*, *Ethnomusicology Forum*, *The World of Music*などの学会誌に多数の論文を掲載した(業績一覧は<https://soas.academia.edu/DavidHughes/CurriculumVitae>で確認できる)。特に彼の本来の専門であった言語学の影響を生かした *Musical Grammars* (音楽文法) に関する研究は、民族音楽の理論の発展に貢献した。彼の長年の日本民謡の研究は *Traditional Folk Song in Modern Japan: Sources, Sentiment and Society* (2008年) の単著の研究図書にまとめられた。また、時田アリソン氏と共編の *The Ashgate Research Companion to Japanese Music* (2008年) は英語で書かれた日本音楽の研究入門書として多くの大学で使用されている。2011年に Japan Society Award、2017年には旭日章受章、2018年に第30回小泉文夫音楽賞を受賞するなど、彼の研究活動や日本文化普及活動は高く評価されその功績が認められた。

ヒューズ氏は研究者や教育者と共に演奏活動を長年にわたって続けてきた。1980年に民謡歌手の田中義男氏とともに製作した日本民謡の LP レコードが日本コロムビア社より発売された。ヒューズ氏が1981年に企画した独演会で彼が日本

民謡、沖縄民謡、アメリカ民謡、ジャズ、歌謡曲などを披露している様子は YouTube で閲覧できる (<https://youtu.be/h5GPDylo-pE?si=9hJn4WV4q2XlnDyy>)。これらの多岐にわたる活動と業績から、彼の日本音楽への情熱や芸能の才能はよく伝わる。多くの弟子、友人、同僚はヒューズ氏の温かい人柄に魅了された。ご冥福をお祈りします。

明土真也 嘉祥堂
『民俗芸能研究』第77号 民俗芸能学会
『東方學會報』No.128 (一財)東方学会

会員異動

会員異動

新会員名簿(機関誌第90号別冊)を発行しましたので、そちらをご参照ください。

◆登録事項の変更先

学会ウェブサイトの「名簿情報登録フォーム」をご利用ください。インターネットを使用した回答が難しい方は、学会事務局 (LEN03210@nifty.com または Tel/Fax 03-3832-5152) までご連絡ください。

図書・資料等の受贈

(2025年5月～7月、到着順)

『上海、対岸のヨーロッパ——租界と日本をつなぐ芸術家群像』
井口淳子 岩波書店

『メディアのなかの沖縄イメージ——文化創造の100年』
三島わか 編 七月社

『中京大学所蔵古典籍・古文書の研究2——近年新収蔵貴重資料とその周辺』(中京大学文化科学叢書25)
明木茂夫 編 中京大学先端共同研究機構文化科学研究所

『楽道』5,7月号 (公財)正派邦楽会

『日本音楽史研究』第9・10合併号
上野学園短期大学日本音楽史研究所

『楽器コレクション管理資料集8 活動報告編』2024年度版
国立音楽大学楽器学資料館

『Xスケープ・デザイン 上——デザインや芸術の価値を高める』

『Xスケープ・デザイン 中——音高の記号性と音高信仰』

『Xスケープ・デザイン 下——雅楽や梵鐘に現れる音高信仰』

新刊書籍

『アジアの民族文化：美術・音楽・建築がわかる』
山本和華子、寒山社、1,760円

『あの唄も、この曲も：実は戦争の歌だった童謡・愛唱歌の謎』
合田道人、笠間書院、1,980円

『いまを生きる民俗学：民族学・文化財・博物館』
八木透先生古稀記念論集刊行会(編)、昭和堂、6,380円

『江戸吉原解剖図鑑』
菊地ひと美、エクスナレッジ、1,870円

『音・音楽であそぼ!：題材に直結する音楽あそび』
石上則子、伊藤俊彦、音楽之友社、2,420円

『「音」の戦争と日本近代：戦時下の日常で音楽はどう鳴り響いたのか』
戸ノ下達也、青弓社、3,960円

『音のひみつがすべてわかる!：すごすぎる音楽の図鑑』
反田恭平、KADOKAWA、1,485円

『音羽屋三代』
尾上菊五郎、尾上菊之助、小学館、5,500円

『音楽家のための文章教室：演奏会プレトークからクラファン、助成金申請まで』
久保田慶一、アルテスパブリッシング、2,200円

『音楽資料目録入門』伊藤真理、鳥海恵司、樹村房、2,860円

『音楽療法の道しるべ：音と心の不思議な関係』
佐治順子、春秋社、2,750円

『音楽療法の道しるべ：心とからだの不思議な関係』
佐治順子、春秋社、2,750円

『雅楽の〈近代〉と〈現代〉：継承・普及・創造の軌跡』
寺内直子、岩波書店、8,800円

『キリシタン音楽入門』
皆川達夫、日本キリスト教団出版局、2,640円

『郡上踊りと白鳥踊り：白山麓の盆踊り【改訂版】』
曾我孝司、雄山閣、2,640円

『黒澤明の音楽』
小林淳、作品社、4,950円

『国劇・組踊』
池宮喜輝、ボーダーインク、3,080円

『古典エンタメあらすじ事典』櫻庭由紀子、淡交社、2,200円

『5分でできる! 全学年対応! 小学校音楽 遊びいっぱい
の常時活動 アイデア70』
西沢久実、音楽之友社、2,200円

『これぞ! 歌舞伎コレゾ カブキ：そのあらすじと史実』

大石学(編著)、清水書院、1,980円
『怖くて美しい能の女たち:日本人の美意識の究極のかたち』
林望、草思社、2,090円
『シンになる。:遠野異界探訪記』富川岳、亜紀書房、2,530円
『しゃべって歌って味わって覚える リズム基礎講座』
高橋千佳子、音楽之友社、1,760円
『小学校音楽 目指せ!参加率100%!!:楽しく音楽学習を進めるあの手この手』 古宮真美子、音楽之友社、1,980円
『真言を歌う:詩のつばさ』
八事山仏教文化研究所(監修)、あるむ、2,970円
『【新装版】伝記:世界の大作作曲家—15人の偉人伝—』
ひのまどか(監修)、Gakken、1,980円
『スコットランドの詩と音楽:社会をつなぐ伝承文化』
照山顕人、米山優子、春風社、4,290円
『続・祭祀考古学の研究』 大平茂、雄山閣、17,600円
『魂の音楽よ、日本に届け』
吉田裕史、ミツイパブリッシング、2,420円
『中世的身分秩序と家格の形成』 金玄耿、思文閣、9,350円
『東寺執行日記 第三巻』
東寺文書研究会(編)、思文閣、15,400円
『東南アジアのリバース・ジェンダー・ギャップ:進む女性の
高学歴化は何を意味するのか』
鴨川明子、服部美奈、明石書店、2,970円
『奴隷制と人種差別から生まれた黒人音楽』
藤井創、ヒカルランド、3,630円
『中村京蔵の雀躍轉談:守って破る歌舞伎の道』
中村京蔵、紀伊國屋書店、2,999円
『南米力と沖縄愛:日系16人のライフストーリー』
漢那朝子、ボーダーインク、2,420円
『仁左衛門花実抄』 宮辻政夫、法蔵館、2,750円
『日本中世の宗教世界』
阿部泰郎(監修)ほか、勉誠社、9,350円
『日本の教会に響く歌:カトリック会衆歌の系譜と意義』
松橋輝子、論創社、3,300円
『日本のすごい祭り』 久保田裕道、イカロス出版、1,980円
『日本史を宗教で読みなおす』
大西信行、佐藤雄基(編)、山川出版社、2,200円
『能楽堂の誕生:「日本的近代化」を遂げた劇場空間』
辻槇一郎、中央公論美術出版、6,820円
『はじめての歌舞伎』 利根川裕、世界文化社、1,980円
『ボディパーカッション教育入門』
山田俊之、音楽之友社、2,200円
『「幻の源氏物語絵巻」をもとめて』
佐野みどり(編)、小嶋菜温子(編)、高橋亨(編)、思文閣、

38,500円

『まんが音楽の歴史:バロック~古典派~ロマン派』
ひのまどか(監修)、Gakken、1,870円
『民衆仏教の形成と日本中世』. 上川通夫、思文閣、11,000円
『明治キワモノ歌舞伎:五代目尾上菊五郎の時代』
矢内賢二、講談社、1,320円
『モノからみた宗教の世界』
八木百合子(編)、春風社、3,850円
『柳田国男と民俗学の近代』. 菊地暁、岩波書店、1,925円
『山と獣:焼畑と祭りにみる山村の民俗誌』
須藤功、農山漁村文化協会、2,750円
『和楽器のルーツをさぐる!おもしろ日本音楽』
釣谷真弓、東京堂出版、3,300円

新発売視聴覚資料

●CD

『いっしょに歌いたい 日本の唱歌 ベスト キング・ベスト・
セレクト・ライブラリー2025』
V.A.、KICW-7221、2,400円
『歌や色美らさ ~キャンパスレコード創業55周年記念ベス
ト』 Power Push、30NCD-98、3,000円
『沖縄民謡 ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー
2025』 V.A.、KICW-7286、2,400円
『雅楽 ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2025』
V.A.、KICW-7344、2,400円
『吟詠歌謡 ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー
2025』 V.A.、KICW-7258、2,400円
『吟詠の友(40)』. 岸田詩生ほか、COCJ-42502、2,701円
『吟詠 ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2025』
V.A.、KICW-7343、2,400円
『黒い瞳~ロシア民謡 ベスト キング・ベスト・セレクト・
ライブラリー2025』 V.A.、KICW-7231、2,400円
『決定盤!盆踊り集』
原田直之ほか、COKM-45688、<配信限定>
『琴のしらべ ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラ
リー2025』 V.A.、KICW-7336、2,400円
『津軽三味線 ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラ
リー2025』 V.A.、KICW-7291、2,400円
『仲村逸夫独唱集 2 ~歌風を継ぐ~』
仲村逸夫、KOKU3-0284、2,500円
『日本の民謡 西日本編 ベスト キング・ベスト・セレクト・
ライブラリー2025』 V.A.、KICW-7285、2,400円
『日本の民謡 東日本編 ベスト キング・ベスト・セレクト・

- ライブラリー2025』 V.A.、KICW-7284、2,400円
『～日本を伝える～わらべうた ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2025』 V.A.、KICW-7218、2,400円
『端唄・小唄 キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2025』 V.A.、KICW-7340、2,400円
『盆踊り ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2025』 V.A.、KICW-7277、2,400円
『民謡祝い歌 ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2025』 V.A.、KICW-7287、2,400円
『民謡傑作選 ～関東・甲信静越編』 曾我了子ほか、COCF-18290、1,980円
『民謡傑作選 ～中国編』 斉藤京子ほか、COCF-18291、1,980円
『謡曲 ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2025』 V.A.、KICW-7342、2,400円
『琉球レアグルーヴ Crossover - Okinawa Jazz Funk 1964-1984』 三橋貴風ほか、COCP-42498、2,750円
『琉球レアグルーヴ Revisited - Okinawa Pops 1957-1978』 屋良ファミリーズほか、COCP-42497、2,750円
『浪曲さわり集 ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2025』 V.A.、KICW-7335、2,400円
『和楽器のすべて ベスト キング・ベスト・セレクト・ライブラリー2025』 V.A.、KICW-7337、2,400円

編集後記

9月号をお届けいたします。毎年9月号は、すべての会員の方に郵送でお送りしています。RILMの「音楽文献オンライン」にアクセスするためのIDとPWも、年に1回、9月号と共に郵送にてお知らせしています。併せてご確認ください。

さて、すでにご存じのとおり、当学会では今年度より支部制度が廃止となります。定例研究会の告知や報告は、これまでの支部だよりにて代わって、会報と学会ウェブサイト、およびメール配信が担うこととなります。どうぞよろしくお願い申し上げます。なお、会報は年3回の発行であるため、定例研究会のタイミングによっては会報にお知らせが出ない場合もございます。最新情報につきましては、随時ウェブサイトの方もご確認くださいませよう、お願い申し上げます。

土田牧子

編集委員会

理事：土田牧子、高松晃子

参事：井上環、今泉佳奈、神田花菜子、倉地真梨、玉置彩乃、吉岡倫裕

